

平成 19 年 11 月 18 日（日）、やつしろハーモニーホールにおいて、熊本県民の方を対象に「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

県内	21 名
県外	1 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・誤った写真の説明など、虚偽の説明をしてきた地区に対して具体的に訂正すべきである。
- ・基本高水流量は過大では無いという説明はあったが、どのように基本高水流量が決定されたという説明はなかった。(対象洪水から) 昭和 40 年洪水がはずされたことや(計画降雨継続時間が) 12 時間雨量に変わり、降雨の引き伸ばしパターンが大きく変わったことなど、工事实施基本計画と決定方法が変わったのに基本高水流量が 7,000m³/s と同じになっていることについて、十分に住民に説明して欲しい。そもそも引き伸ばしとは何なのか。
- ・(八代市内で開催された報告会で提示していた) ピンク色に着色された図(八代市の浸水想定区域図)について、何年に 1 回の洪水を想定しているのか、何千 m³/s 流れたら浸かるのか聞きたい。また、麦島地区はピンク色ではなかったと思うが、そこは浸からないから安全ということか。
- ・知事は基本方針に了承しがたいと言っている。報告会に県職員は出さないと言っているが、この場にいる県職員は誰の指示で来ているのか。
- ・(以前の報告会で質問した) 過去の洪水での豊原地区の浸水戸数を教えて欲しい。
- ・配布資料の P24 に S40 年 7 月型洪水、S47 年 6 月型洪水については、規模が非現実的であるため採用していないと書いてあるが、S40 年 7 月洪水が引き金となって川辺川ダムが発表されたのではないか。採用しない方が非現実的なのではないか。計算方法に疑問を持つ。
- ・森林の保水力について、配布資料 p17 にあるグラフで柳瀬地区を調査地点に選定した理由は何か。
- ・球磨川本流では、豊かな農村、農地が展開している。土地利用形態(森林→川、森林→耕地→川、森林→住宅→川)毎に球磨川流域全体で延長がどれくらいあるかを示して欲しい。
- ・洪水調節機能、洪水防止機能というものは地域全体で考えていく問題と思う。水田まで含めた地域全体としての洪水防止機能の検討が無かったのか。農水省の資料によると、水田は保水、貯水、洪水防止機能があるということである。
- ・人吉市内では河床掘削はできないとする、河川工学上の一番決定的な理由は何か。
- ・洪水調節施設による流量調節は、いつ、どのようにしてなされるのか具体的に提示して欲しい。
- ・土堤の余裕高 1.5m が、(人吉市内のように) 土堤ではないところでも必要であることについて説明して欲しい。
- ・雨量の引き伸ばしについて説明して欲しい。(小委員会等の資料で提示されている) 基本高水流量の根拠となる 6,997m³/s の引き伸ばしの図について、既に 2,000m³/s 流れている状況から引き伸ばしをすれば過大になるのではないか。
- ・計画降雨継続時間を 12 時間と短く設定するからおかしな数字になっているのではないか。配布資料 p 23 の図を見ると、12 時間雨量と 36 時間雨量の相関係数の差はほとんどない。また、短時間降雨で棄却するのはおかしい。基本高水流量 7,000m³/s は過大だと思う。
- ・これまでの報告会の中で「確かめ算」という説明をしているが、これは何か。
- ・丁寧に説明してもらったが、なぜ治水対策が必要かといった論点について前提となる説明がもう少しあればよかった。報告会で幅広く県民の意見を聞く場を設けてもらっているが、何より流域の住民、特に通常被害を受ける

可能性のある方々に対して説明なり意見をきくことに重点を置いてもらいたい。

【球磨川の治水対策について】

- ・小委員会で知事は、「国交省は、萩原地区の深掘れ対策に15年かかるとしているが、ダム完成時期より遅れることになるので、矛盾を感じる」と発言された。この矛盾について説明して欲しい。
- ・国交省が危険性を指摘している萩原堤防 7.6km 地点について、基本高水流量 9,900m³/s 時の水位や、計画高水流量 7,800m³/s 時の水位の表示があるとみんな安心できると思う。
- ・(以前配布されていた冊子である)「暴れ川球磨川」の写真は萩原堤防が壊れて球磨川が溢れた写真なのか。今もこんな洪水の危険があるのか。
- ・市庁ダムの管理をきちんとやっていたら洪水も起こらなかったのではないかと思う。
- ・球磨川と川辺川が合流する一带は遊水地だと考えればよいのではないか。球磨川にゲートをつけて、雨が降ったら一斉に開けて(田んぼの方に)逆流させ、田んぼで水を受け入れればどうにかなる。米などの補償をすればよい。球磨盆地全体を緩やかなダムと考えて遊水地にすれば安くつく。そういった検討をして欲しい。
- ・冬柴大臣は川辺川ダムを造りたいと言っているが、ダムを造ったとしても過去の洪水の被害者を救うことはできない。ダムで救えないところで死者は出ている。

【その他】

- ・水田の貯水・保水機能を活かすために人吉・球磨地区を経済特区として「バイオエタノールの原料米の栽培」を提案する。県でもこういったことの可能性を検討して欲しい。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

※ 誹謗中傷するような不適切な発言については掲載しておりません。

